

たんぽぽ うしん

第39号

[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会/アクティビティー・サポートセンター協力会 牧野 秋夫
〒002-8071 札幌市北区あいの里 1条6丁目 1-2 TEL 011-770-5225 / FAX 011-770-5112
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 [発行] 2016年4月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円



いままでのこと、これからのこと

アクティビティー・サポートセンター協力会 会長 牧野 秋夫

昨年はアクティビティーセンター創立20周年が行われました。

20年を振り返りますと、はじめは、スタッフ、ユーザー、父母は暗中模索で取り組んでいたように思います。ただ、『施設は自分たちでつくっていこう』という思いが強かったと思います。

ユーザーの父母などで構成された協力会がつくられ、“どう取り組んでいくか”の話し合いの機会を重ねたことが現在の基礎になっているように思います。

ユーザーの社会的自立、地域社会での生活・活動、ノーマライゼーション運動をめざしました。

当初から旅行、レクレーション、地域活動などが積極的に取り組めたのは、協力会の支援があったからだと思います。

スタッフの努力、地域の協力、協力会からの経費援助などがあって、現在の活動に繋がっているものと思っています。

今年は21年目となりますが、2月の台湾旅行の平溪天燈祭(へいけいてんとうさい)で、「元気で頑張ろう!」、「みんな助け合う!」・・・など、みんなの願いを天燈(ランタン)にと書いて、空に願いを託すことができました。みんなの願いが叶うことを祈ります。

これからもみんなで力を合わせて、地域の方々や多くの人の協力を得て、楽しい・充実した一日一日を過ごしていけたらよいと思います。



ランタンに思いを込め夜空に...



日月潭(にちげつたん)観光



台南市赤嵌樓(せきかんろう)にて

行事予定

《札幌協働福祉会の行事予定》

- 4月15日(金) 新人研修 場所：拓北・あいの里福祉センター
- 4月23日(土) 協力会総会 場所：拓北・あいの里地区センター
- 4月29日(金)～30日(土) 北湯沢温泉旅行



2/21(日)~25(木) 2016 台湾旅行

「2016台湾旅行」は37名の参加者を集め、4泊5日の日程で開かれました。皆さんは21日午後には氷点下の北海道を飛び立ち、約4時間半の飛行時間で温暖な台湾の台北市桃園空港に到着、ここから楽しい旅行会が始まりました。

今回は、台北市内で開かれていた旧正月のイベントへの参加も予定され、皆さんには貴重な体験、さらに行く先々で頂く台湾料理もうれしい旅の楽しみで、この時だけはそろってダイエットを忘れていました。

旅行会は25日午後には全員が無事帰国、旅の思い出を一杯にそれぞれ帰宅されました。



台南市の老舗台南料理店で=23日



台北市内で夕食=21日



台湾高速鉄道で台南市へ=23日



平溪天燈祭へいけてらんど(さい)会場にて=22日



遊覧船観光を終えて=24日



台北市内観光=22日



台北へ向かうエバー航空機内で=21日



文武廟(ぶんぶくう)にて=24日



台北市内で昼食=22日

3/17(木) 拓北・あいの里居住者会議

3月17日、拓北・あいの里地区に住居を持つ職員を対象に「平成28年 拓北・あいの里居住者会議」が「ふれあいセンター」で行われました。「ひまわり団地中央町内会」の大坂登会長と大野毅総務部長の二人を講師にお招きし、防災をテーマにした「ひまわり防災会」の成り立ちと現在までの活動についての講演をして頂きました。



ひまわり団地中央町内会の大坂登会長による講演

3/27(日) 札幌協働福祉会 職員研修・歓送迎会

3月27日午後、札幌協働福祉会の職員を対象に研修会が「拓北・あいの里地区センター」で開かれました。

宮野常務理事が最初に挨拶、続いて辰田理事長が「法人の今後の展望について」として皆さんに向け話されました。

今回の研修会では、田代耕平氏(札幌総合法律事務所・弁護士)をお招きし「セクシャルハラスメント・パワーハラスメントについて」で講演いただきました。

研修会の最後は田中美千代氏(学園通りあくていぶ施設長)が「障がい者虐待防止・権利擁護について」を皆さんへ報告されました。

午後6時から、北区の「ガトーキングダムサッポロ」で歓送迎会が開かれ、永年勤続表彰と功労賞の対象職員に賞状と記念品が贈られました。



新人職員のみなさん



拓北あいの里連合町内会 松井会長の挨拶



拓北・あいの里地区社会福祉協議会若山会長の乾杯



拓北あいの里地区センターで行われた研修会



功労賞の贈呈



永年勤続表彰の贈呈



堀田典子さんによる「たんぽぽ」独唱



札幌協働福祉会 宮野常務理事



札幌協働福祉会 辰田理事長



学園通りあくていぶ 田中施設長



札幌総合法律事務所 田代耕平氏



「結婚おめでとう」をいしますー!



札幌協働福祉会歓送迎会 嵐(保育園職員)による楽しい余興!

3/19(土)

あいの里協働保育園 札幌協働保育園



3月19日、札幌協働保育園は第38回、あいの里協働保育園は第4回目となる卒業式が行われました。

1部では、園長から一人ひとりに卒業証書がわたされ、緊張する姿と自信あふれる姿を見せつつ、大きな声で家族へ向けてのメッセージを伝えながら、保護者に卒業証書を渡す姿はとっても感動する場面でした。

2部では、日ごろの練習成果を發揮し、よさこい・竹馬・跳び箱・器楽演奏・歌などを立派に披露しました。集大成の劇では(協働保育園「金のがちょう」、あいの里「王様の耳はロバの耳」)、クラス全員でお互いを支え合いながら大成功をおさめました。

元気と笑顔いっぱいの卒業式となりました。



あいの里協働保育園の卒業児による「王様の耳はロバの耳」



日頃の練習成果を發揮!

あい保



池田園長より卒業証書を受け取る卒業児のみなさん



協保



庄司園長より卒業証書が渡されました



在園児による「よさこい」



卒業児による「金のがちょう」

『アートセンターあいのさと アールブリュット展 in NHK ギャラリー』開催!



今年が2回目となりました、アートセンターあいのさとに通所しているユーザーさんのグループ展である『アートセンターあいのさとアールブリュット展 in NHK ギャラリー』が、去る3月4日(金)～10日(木)の期間で開催されました。

今回は、北海道新聞やNHKの情報番組での告知の後押しもあり、期間中450名というたくさんの方々にご来場いただき、スタッフ・ユーザー一同、大変嬉しく思っております。ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

これからも、毎日ユーザーさんたちが生み出している素敵な作品が、たくさんの方々とお会いできるよう、機会を設けていきたいと考えていますので、その際には、ぜひ足をお運び頂きたいと思っております。今後とも、よろしくお願いたします。



バス / 福恵康司



インタビュー 15 その①

NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター 代表理事

たけだ たもつ
竹田 保氏



1960年生まれ。自ら筋ジストロフィーという難病を抱えながら、障がい者が地域で自分らしく暮らせるよう、札幌市内で生活支援や就労支援など7つの事業所を運営する。札幌協働福祉会とは福祉分野にとどまらず、災害支援でも密接に協力連携している。

障がい者が地域で生活していくために ～コンピュータの講習会からホップは生まれた～

▼ご出身は?

竹田氏 道南の木古内町、前浜というところですよ。イカがたくさん穫れた時代で、その時期になると砂浜一面イカを干している光景を見ることができました。小学1年の途中から札幌に移り、その後筋ジストロフィーの専門病棟があった八雲町に移り、八雲の中学校を卒業。高校から再び札幌に戻り、卒業後は岩見沢の施設に入りました。1年半後、コンピュータの仕事が見つかり、札幌で地域生活を始めました。

▼どんな経緯でコンピュータ業界に就職したのですか?

竹田氏 当時、就職浪人をしていまして、公務員の国家試験に受かったのですが、声がかからず自宅待機が続いていました。そんな時に道庁の巡回相談で、これからはコンピュータの時代だから、コンピュータを覚えた方がいいというアドバイスをいただき、この道を選びました。コンピュータの会社に就職したのは22歳のとき。やっていくうちに障がいをもっていてもこの業界で

働ける、であれば障がい者とこの業界を結びつけることができないかということで、27歳のときにコンピュータの講習会を実施しました。

▼まだコンピュータが普及していない時代ですね。
竹田氏 新品で千万円、中古で五百万円していましたね。たまたま会社のコンピュータを新品に切り替えるので使っていいよと言って、まわりの人たちも講師を買って出たり、会場費などを出し合ったりして、1年間の講習会を支えてくれました。募集すると定員を大きく超える55名もの申込みがありました。オホーツクから引っ越してきて参加する人もいて、それだけ就職への思いが強かったと思います。受講した22名はみんな優秀で、秋にはコンピュータの資格や簿記2級の資格をとる人が続出しました。ところが、全員就職できると思っていたものの、就職できたのは半数でした。残った11名の居場所が必要ということで小規模作業所をつくりました。それがホップの始まりです。

<次号に続く>

地域行事の紹介

見守りボランティア研修会

2月26日(金)、拓北・あいの里地区センターにて「見守りボランティア研修会」が行われ、地域住民約200名が、肩ひじ張らない自然な見守りの仕方の講演に耳を傾けていました。



見守りボランティア研修会

室内雪合戦

3月6日(日)、拓北・あいの里地区センターにて、冬季レクリエーションとして第2回室内雪合戦が行われました。

拓北・あいの里地区青少年育成委員会が企画・運営を行い、連合町内会、まちづくりセンター、地区センターの協力を得て、拓北・あいの里地区の小学生80名が参加し、楽しい時間を過ごしました。

ゲーム終了後は、育成委員が作ったクリームシチューをみんなで美味しく頂きました。



白熱した室内雪合戦

山の家通信



仁木町冷水峠にある当法人の保養施設“山の家きょうどう”からの通信を掲載します。



ログドラムをつくるワークショップ

1月23日(土)、山の家でログドラムをつくるワークショップを行いました。「ログドラム」という言葉を初めて聞く人も多いでしょう。「ログ」は丸太、丸太をくりぬいて作る太鼓のことです。山を家のまわりはカラマツ林。その間伐したカラマツを材料にログドラムをつくるワークショップでした。当日は、地域の人たちや当法人の職員、ユーザーさん8名が参加し、朝9時から5時までかかって作り上げ、叩くといい音が出ました。今年の夏休み、福島の子どもたちと一緒につくれたらいいなと考えています。



市内配達
無料です!

自然志向の店 あくていぶ

～4月の特売品～

チョココー つけ・かけ専用化学調味料無添加

◇かけぽん・かけ醤油 465円→各**386円**
(400ml×1本) ※掲載商品は、ほんの一部です。



ムソー 国内産大麦使用

◇麦茶 508円→**386円**
(10g×50袋)

今年もマルシェ(朝市)が始まります!

日程: **5/21日(土) 10:00～13:00**

※毎月第3土曜日開催予定



■営業時間 平日 10:00～17:00

■定休日 土曜・日曜・祝日

<http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp/main/>

札幌市北区あいの里3条4丁目9-1(歩道橋すぐ横)
TEL 011-778-2377 FAX 011-778-2375

「自然志向の店 あくていぶ」は障がいのある方への就労支援を行っているお店です。

4月7日
木曜日
OPEN

あいの里教育大駅横にレストランがオープン!

食彩 Felicia (フェリシア)

限定
30食

和の料理人が作る1メニュー
和洋中 日替りランチ

※当面の間は、日替りランチのみの提供になります。

■営業時間 平日 11:30～14:30
(14:00 オーダーストップ)

■定休日 土曜・日曜・祝日
(都合によりお休みをいただく場合がございます)

札幌市北区あいの里1条6丁目1-2(拓北・あいの里福祉センター1F)



「食彩 Felicia(フェリシア)」は、「ふれあいセンター A・yell」が障がいのある方への就労支援を行っているお店です。

HSK たんぽぽ(らっしん) 第39号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻529号

[発行] 2016年4月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円

[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会

アクティビティー・サポートセンター協力会 牧野秋夫

〒002-8071 札幌市北区あいの里1条6丁目1-2

TEL 011-770-5225 / FAX 011-770-5112

[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会

アクティビティー・サポートセンター協力会

TEL 011-770-5225

FAX 011-770-5112 (福田、松岡)